

～～第8238回～～

雲の平

～H29. 7. 27-30～

それほど山に詳しくない私だが、“雲の平”という名は、何となく知っていた。仲間が一度は行きたい場所として話しているのが、耳に残っていたのかもしれない。参加を考えて改めて地図上で確認し、そのロングコースに大変さを認識した。ウィキペディアによると、当日中にたどり着くことが困難なため“日本最後の秘境”と呼ばれているとの事である。“奥の平”とも言うらしい。日本百名山を踏破した人でも、ピークから眺めただけの人も多いと聞く。今回のコースは、新穂高温泉口から小池新道経由で鏡平山荘-双六岳-三俣蓮華岳-三俣山荘-雲の平山荘を往復(帰路は、巻道ルート)する。3泊4日で、鏡平山荘2泊(行きと帰り)雲の平山荘1泊である。参加者は、12名(内女性5名)である。出発から雨にたたられ、4日間とも霧雨または曇りで、残念ながらすっきりとした眺望は望めなかった。1日目、新穂高口から鏡平山荘を目指す。林道から小池新道に入り、蒲田川を右に見ながら高度を上げる。秩父沢を渡りシシウドヶ原を経て16:20、鏡平山荘に着いた。この間、後半に雨が上がったものの、湿度が高く発汗で体力を消耗した。残念ながら、この山荘の眼玉、鏡池に映る槍ヶ岳～穂高岳は見えなかった。2日目6:00、霧雨の中、山荘を出発。1時間程の急登で弓折岳分岐へ。分岐からクロユリが咲いているクロユリベンチ、双六小屋を経て10時頃双六岳山頂に立った。丁度その頃には雨が上がり、時々日差しも戻ってきた。双六岳頂上に至る手前の1km程、なだらかな尾根歩きは素晴らしかった。双六岳から三俣蓮華岳までの1時間半は、ハクサンイチゲ、チングルマなどのお花畑が楽しめた。三俣蓮華岳山頂から鷲羽岳の稜線を見ながら下山、30分程で三俣山荘へ。山荘から川沿いに下り30分程で黒部川源流標識に着いた。今年は残雪が多く、黒部源流をロープにつかまりながら渡渉、なかなかスリルがあった。ここから雲の平日本庭園までの登りは非常にきつく、気の抜けない場所である。途中、雪原で後ろを振り返ると、なんと雲間から槍ヶ岳がくっきりと見え、皆で写真撮影。すぐ雲に隠れ、一瞬の出来事だった。日本庭園を過ぎてまもなく、雲の平山荘が遠くに見え出すが、着くまでの長い事。環境に配慮しての事だろうが、ルートが湿原を避け迂回して作られているためだ。休憩を入れ、約10時間半の長丁場だった。雲の平は、その名の通りお花畑の広がるなだらかな盆地状の湿地帯で、水晶岳、祖父岳、鷲羽岳、三俣蓮華岳、黒部五郎岳などが見渡せる素晴らしい場所である。3日目、4日目は、新穂高へ戻ることになる。3日目の鏡平山荘へのルートで今回の山行でのハイライトが待っていた。双六小屋と三俣山荘間には、3ルートがあるが、帰路は巻道ルートを辿った。三俣蓮華岳山腹の巻道分岐から40分間程、登山道の両側にお花畑が続いており、その素晴らしさに歓声を上げた。ハクサンイチゲ、チングルマ、イワカガミ、シナノキンバイ、ミヤマキンバイなどが一面に咲き誇っていた。今回の苦しかった山行、このお土産を心に刻んで山を下りた。新穂高温泉(中崎山荘)で温泉に入り4日間の疲れを取って静岡へ帰った。

山小屋情報：鏡平山荘-10 卓程のテーブルがウッドデッキに作られており、天気良ければくつろげる。食事は、揚げ物がメインで良。(生ビール900円)対応もなかなか良い。雲の平山荘-建物は最近改築され、オーナーのこだわりが感じられるが、スタッフ

の態度その他、皆の評判は今一つ。水は天水に頼っており、蛇口をひねってもチョロチョロしか出ない。飲料水は購入。(缶ビール 500 ml 850 円) 食事は、石狩鍋でまあまあ、ここの定番らしい。

参加者：12 名（静岡北 9、静岡東 2、静岡西 1）

天候：曇り／雨

地図：笠ヶ岳・三俣蓮華岳・薬師岳

コースタイム：静岡 600＝新穂高駐車場 940-1015…わさび平(昼食) 1145-1205…小池新道登山口 1230…秩父沢 1335…シシウドヶ原 1515…鏡平山荘(泊) 1620-600…弓折分岐 700…双六小屋 820…双六岳 1000…三俣蓮華岳 1130…三俣山荘(昼食) 1155-1210…黒部源流標識 1235…祖父岳分岐 1530…雲の平山荘(泊) 1640-600…祖父岳分岐 700…黒部源流標識 835…三俣山荘 915-930…巻道分岐 1025…(昼食)…双六小屋 1235-50…弓折分岐 1405…鏡平山荘(泊) 1450-630…シシウドヶ原 705…秩父沢 815…小池新道登山口 905…わさび平小屋 920-35…新穂高駐車場 1040-1100＝静岡駅 1545

記録：静岡北支部 吉岡 道雄



雲の平にて



雲の平雪原に行く



雲の平木道に行く



雲の平からの槍ヶ岳